

図書館だより

令和 4 年 6 月 27 日 (月)
No. 3 館林高校図書委員会
担当 広報班 (3-5)

とおきの一冊をあなたに

新着任の先生に本との出会いを語ってもらいます。今回は阿久津一征先生です。

本との出会い大切に



「ふたり」 赤川次郎 著 新潮文庫

あなたは幽霊の存在を信じますか。私の場合、理論的に証明されていないものは信じようとしていませんので、信じません。しかし、幽霊が存在すればおもしろいと心の中で考えることがたまにあります。

主人公は北尾千津子とその実加の2人です。高校2年生になった千津子はある日突然不慮の事故によってこの世を去ります。その千津子が実加にとりついて実加の成長を助けていきます。そして実加が千津子の年齢に達したときに千津子は消え、千津子の直面することがなかった課題を自分の力で解決するという内容です。

この本に出てくる幽霊は頼りがいがあります。私にもこのような頼りがいのある幽霊がいてくれたらと思うことがあります。自分の課題を解決してくれる良きメンターがいてくれたらと思うことが日々あります。高校時代、大学時代では勉強中に理解しにくい問題に直面したとき、仕事でうまくいかなかったときなどは不可欠です。

実加の場合のメンターは姉の千津子でした。千津子が生きているとき、学業の成績は抜群で所属している演劇部での発表は主役を演じ、人目を引き付ける雰囲気がありました。一方、実加はそれほど目立ったわけではなく、行動は姉より劣っていました。それが千津子の手助けもあったおかげで成長し、千津子のような又はそれ以上の立派な人間になっています。

館高生のみなさんはこれからどのような人生を歩むでしょうか。これからいろんな壁にぶちあたると思いますが、これまで直面したことのないことがその多くを占めるでしょう。今後はこの本のクライマックスで実加が課題を解決したように、自分で解決しなければならぬケースも増えていくと思います。ぜひ皆さんもいろんな壁を乗り越えてほしいです。何か壁にあたって苦しんでいる人、いろんな人の人生観について学びたい人はぜひこの本を読んで下さい。いろんな道の選択ができ、自分にあった道がきっと選べます。

また、この本ですが平成9年(1997年)4月から6月にかけてテレビ朝日でドラマ化されました。主人公の北尾千津子を一色紗英さん、北尾実加を奥菜恵さんが演じていました。

また、令和4年5月末の館高図書館主催座談会でも話題にしました、BLUE BACKS 講談社 も触れてみて下さい。理系のエッセンスをもった方が増えてほしいので、ぜひお願いします。強いて1つ勧める本として「入試数学 伝説の良問100」 安田 亨 著 をあげます。

★阿久津先生から紹介いただいた本★

『ふたり』赤川次郎 (著)
新潮文庫
図書館にあります！
名作なので読んでみてね♪



no image

『入試数学 伝説の良問100』
安田亨 (著) 講談社
購入します！
図書館に入ったら借りてみて
ね♪



no image



この本の魅力は本人が実際に体験した短編集であることだ。一つの話をも10分程度で読めてしまう。また、作者が生きる中で起こった何気ないことを書いているので共感できる話も人によってはあるかもしれません。

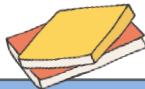
この作者はyoutuberとして活動しておりインフルエンサーだ。動画でなら見たことがある人も少なくないかもしれません。動画を見たことある人は勿論、動画を見たことない人でも楽しめる内容なのでこれを見て手にとって読んでもらえると嬉しいで



no image

『最悪な一日』
コウイチ（著）
KADOKAWA

**図書委員
からの
おすすめ
本**



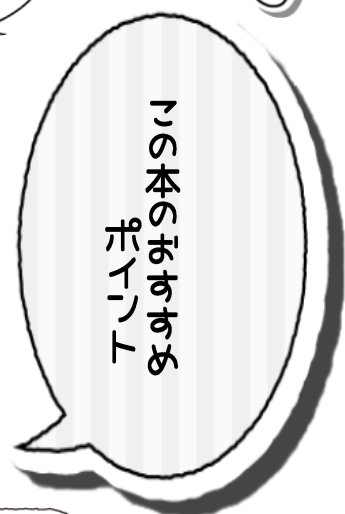
『SLAM DUNK』
井上雄彦（著）
集英社



no image

この本は、不良高校生だった主人公桜木花道が一目惚れした赤木晴子の勧めで、バスケット部に入部して全国制覇を目指し、バスケットマンとして成長していく姿が描かれた作品です。

今年の秋には映画が公開される予定なので、公開される前にぜひ本を借りにきて読んでみてください。



どちらの本も図書館にあります！
ぜひ読んでみてください！

もっと知って便利に！ //

図書館活用講座

Q 図書館には本がたくさんあり、探している本がなかなか見つかりません…



A

本の背表紙についている数字
を見て探してみましょう！



check!

背表紙についている数字は NDC（日本十進分類法） といって、0～9の数字でジャンル分けをし、同じ内容でまとまって本棚に並んでいます。

日本のほとんどの図書館はこの並び方です。ラベルには3桁で書かれていますが、最初の数字を覚えるだけでもより素早く本を見つけることができます。

大学生になると、レポートや論文などを作成するときに、図書館で資料や文献を探そうと思えると思います。そのためのにも、今からどの数字がなんのジャンルなのかをチェックしておきましょう。館高図書館には、本棚にどの数字が何のジャンルか分かるように表記されていますので、それを目印にしてくださいね！

雨の日を楽しくする本

Rainy Day



no image

靴職人を目指す主人公と雨の日に必ず公園で会う女性との切ないお話。雨の情景が目浮かぶような筆致で、彼らを取り巻く人々の人間ドラマも見所です。アニメにもなっているのでそちらもぜひ！

雨の名前 / 高橋順子

短歌や俳句、小説、歌など雨をテーマにしたものは数えきれずあります。この本では季節ごとの「雨の名前」を写真とともに紹介しています。知っている名前はいくつあるでしょうか。

この他にも

雨にまつわる実用本から、雨がテーマの小説までいろいろと集めてコーナーを作りました。図書館へ見に来てください！



☆本の返却を！！

- ・新書読破で借りた1、2年生のみなさん、新書を返却にきてください！
- ・3年生も返却期限が過ぎている人は早急に返却をお願いします！！

600文字の男

【第二話】（つづき）男たちは二時間おきに運転を交代しながら丸一昼夜車を走らせて鬼ヶ岳登山口に到着した。途中の登山用品店で買い揃えた最低限の必要物品で装備を整えたふたりは車のトランクルームを見おろした。そこには小柄な老人が丸くなっていた。老人の白髪は肩までのび、白髭は胸元までたれていた。白茶けた作務衣のような服装で足には藁草履を履いていた。なぜか赤く錆びたピッケルを抱えている。「仙人みたいですね」「そうですね」中年男は顎をしゃくつて若者に老人を背負うように促す。ヒッチハイカーは自分の運命を呪いながらしぶしぶ老人を背負う。老人のからだは柔らく軽かった。ドライヴアーはその老人をザイルで若者に結わえつけた。夜明けまでにはまた時間があつた。ふたりはヘッドライトを灯して桃尻岩を目指した。三時間後、ふたりは桃尻岩を見あげていた。東の空がほんのりとあおくなり始めていた。若者は老人を地面におろした。目の前に大きな亀裂があつた。ふたりは老人のからだを岩壁の割れ目におさめた。中年男は赤錆びたピッケルを墓標のように供えた。びーぽーびーぽー。奇妙な電子的な音が響いた。老人を座らせた岩の間から七色に染まる煙が湧き出した。その煙の中から老人がにこやかな笑みをたたえて浮かびあがってきた。男たちはそろって腰を抜かした。「君たちがお人好し過ぎるせいで宇宙のバランスが崩れ始めているのだ」「？」「私は君たちの存在価値を審査する宇宙連盟の調査員だ。さいごに、ひとつたずねる」老人は手に持った黄金のピッケルを差し出した。「これはきみたちのピッケルか？」ふたりは思わず正直にこたえた。「ちがいますっ！」老人は不敵な笑みを邪悪にゆがめた。「さらば」「えー、そんなー」。どかん。（おしまい）